



中学国分いざわれら

R3.5.11

国中5F(FightingSpirit・Friendship・Fair・Flower・Future)

万緑の それぞれの534人

霧島市立国分中学校長 小牟禮 勉

立夏も過ぎ、暦の上では、「夏」となりました。

令和3年度も、一月经ちました。その間、家庭訪問やPTA総会、学級・学年PTA等学校行事への御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

以前勤務していた学校の保護者から製茶の仕事における、5月の作業の大切さ、難しさについて教えてもらうことができました。

「一番茶と呼ばれる茶葉をいつ摘むか。今日か明日か？その判断は毎年のように悩み、緊張する。早く摘むと、おいしい茶葉ではあるが収穫量は少なくなる。遅く摘むと収穫量は多くなるが、お茶のうまさが劣ってしまう。その収穫の最初の日の判断により、その後の茶葉の収穫量、そして、1年間の利潤が決定する。毎日の日照時間を積み上げたり、畑での茶葉の様子を朝早くから見たりしているが、自然相手の仕事は、何回やっても難しい。」という内容でした。

その話を思い出しながら、教育の難しさと生徒をあずかる責任の重さに通ずるものがあると感じています。

国分中には、534人の生徒が在籍しています。61人の職員が担任・副担任として、教科担任として、養護・栄養教諭等それぞれの職としての関わりがあります。また、生徒会専門部の担当や生徒指導の担当として、また、部活動顧問等それぞれの係としての関わりがあります。

さらに、支えるとき、励ますとき、叱るとき、話を聴くとき、一人一人の生徒の考え方や、性格、心の発達状況を踏まえ、そのときどきにより、生徒の言葉を共感的に受け止めたり、優しく助言したり、時には厳しく指導したりと、言葉や態度、伝え方を考え、模索し、生徒の成長を期待し、成果にこだわり教育に携わっています。それらが、うまくいきときもあれば、うまくいかないときもあります。担任や職員は、反省したり、悩んだりしながら、葛藤しながら日々教育活動に取り組んでいます。

生徒を輝き、成長する木々の緑と例えるならば、学校を「光」。家庭は「肥沃な土」。地域が「水」でしょうか？それぞれが、大切に欠かすことのできない要素です。

国分中学校は、家庭（保護者）、地域と連携・協働し、「地域から信頼される学校」を目指します。何かございましたら、担任、学年部、学校へ御相談ください。

さて、4月の萌えるような木々の緑も、太陽の光を全身に受け、日に日にその濃さを増しています。5月の連休を終え、新しい学級や学校生活に慣れた生徒たちは、新しい友達や部活動の先輩、学校職員との触れ合いの中で、梅雨の季節から真夏、秋から冬。そして、新しい春に向け、それぞれの長所を伸ばし、花を咲かせ、実を实らせて欲しいと願います。

◇ 5月・6月の主な行事 ◇

5/8 (土) 土曜授業	6/1 (火) 内科検診 (2年)
5/11 (火) 1年人権学習 (～12日まで)	6/2 (水) 中体連推薦式、内科検診 (3年)
3年職場体験学習 (～13日まで)	6/3 (木) 地区総体陸上大会
5/12 (水) 1年内科検診	6/8 (火) 地区総体夏季大会 (～12日)
5/13 (木) 1年遠足	6/11 (金) 小中連携四校合同研修会
5/14 (金) 1年歯科検診	6/12 (土) 土曜授業、避難訓練、部活動停止期間 (～17日まで)
5/17 (月) 3年実力テスト (～18日まで)、教育実習開始	6/16 (木) 定期考査 (～18日まで)
5/19 (水) 検尿 (2次)、耳鼻科検診 (1・3年)	6/21 (月) ノー部活動デー
5/20 (木) 眼科検診 (全学年)	6/22 (火) A L T 来校日 (～23日)
5/24 (月) 3年上級学校説明会 (私立)	6/23 (水) 命の教育の日 (～2年)
5/25 (火) 3年上級学校説明会 (公立)、2年内科検診	6/24 (水) 命の教育の日 (1・3年)
5/26 (水) 3年内科検診	6/25 (金) フレッシュ研修研究授業 (加治木教諭)
5/27 (木) 全国学力・学習状況調査	6/28 (月) 研究公開準備
5/28 (金) 生徒総会	6/29 (火) 地区研究公開、A L T 来校日
5/31 (月) 残食調査 (～4日)	6/30 (水) 合唱祭りハーサル

◇ 新型コロナウイルス対応について (お願い) ◇

新型コロナウイルス変異株が猛威を振るっています。今一度「新しい生活様式」について御確認、御協力をお願いします。特に、登校前の家庭での検温、手消毒、マスク着用は徹底してください。

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策

～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

- 1 毎日の健康観察**
 - 毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
 - 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
 - 感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。
- 2 手洗いの励行**
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用可）

手洗いの、5つのタイミング
- 3 咳エチケットの徹底**
 - 咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。
- 4 3密の回避（密閉、密集、密接）**

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

 - 「密閉」の回避
 - こまめな換気

気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。
 - 「密集」の回避
 - 身体的距離の確保

飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。
 - 「密接」の回避
 - マスクの着用

外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。

正しいマスクの着用
- 5 抵抗力を高める**

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。

★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士や家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。

作成：文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課